

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年10月6日発行

－ 2016.9.26～ 2016.10.2－ 第39週 －

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第36週	第37週	第38週	第39週
水痘	3 0.60	1 0.10	2 0.40	3 1.50				1 0.04	10 0.17	1,108				
流行性耳下腺炎		2 0.20					1 0.50	4 0.15	7 0.12	840				
百日咳														
感染性胃腸炎	24 4.80	19 1.90	8 1.60	14 7.00	5 1.67	8 1.60		58 2.15	136 2.31	12,275	◎	◎	◎	◎
手足口病	24 4.80	28 2.80	17 3.40		7 2.33	10 2.00	3 1.50	82 3.04	171 2.90	1665	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	1 0.2						1 0.50	3 0.11	5 0.08	316				
突発性発しん		2 0.20	4 0.80		2 0.67	2 0.40	2 1.00	16 0.59	28 0.47	1,274	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	13 2.60	24 2.40	20 4.00	9 4.50	10 3.33	31 6.20	5 2.50	70 2.59	182 3.08	3,464	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	1 0.13					1 0.13		1 0.02	3 0.03	28,067				
咽頭結膜熱		1 0.10							1 0.02	672				
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	93				
急性出血性結膜炎														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	9 0.90	2 0.40		3 1.00	37 7.40		27 1.00	93 1.58	7,648	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)														
無菌性髄膜炎														
マイコプラズマ肺炎	4 4.00		2 2.00		1 1.00	2 2.00		5 1.00	14 1.17	313				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)														
RSウイルス感染症	44 8.80	29 2.90	17 3.40	5 2.50	1 0.33	10 2.00		123 4.56	229 3.88	1058	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1 0.08	14				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	17	4	6			1	2	32	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向				
	川崎病								1					
	不明発疹症								3					

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名(第37週)、女性1名(第37週)
大崎管内 男性1名
気仙沼管内 男性1名(第37週)
仙台管内 女性1名(第37週)、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙台管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
栗原管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O145)
大崎管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O55)
気仙沼管内 男性2名(第38週)
腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
栗原管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙南管内 男性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.cloacae*)

仙台管内 男性1名
破傷風
仙台管内 男性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

〔ヘルパンギーナ〕

仙南・塩釜・大崎・栗原・登米・石巻・気仙沼・仙台管内で警報継続中

〔手足口病〕

仙南・塩釜管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

塩釜管内のO157関連 第37週採取分 O157 1件
栗原管内のO26関連 第39週採取分 O26 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第36週採取分 (9.5～9.11)	第37週採取分 (9.12～9.18)	第38週採取分 (9.19～9.25)			
RSウイルス	3件	8件	0件			
エンテロウイルス	1件	2件	1件			
ライノウイルス	0件	1件	0件			
サイトメガロウイルス	2件	1件	1件			
パラインフルエンザウイルス1型	3件	6件	0件			
パラインフルエンザウイルス3型	0件	1件	0件			
パラインフルエンザウイルス4型	1件	4件	1件			

4. 今週のコメント

【RSウイルス感染症】

RSウイルスの感染により引き起こされる急性の呼吸器感染症で、患者のせきや鼻水等からの飛沫感染やウイルスが付いた物を触る接触感染により伝播します。特に乳幼児に多くみられ、生後6ヶ月未満の乳児では重症化しやすいことから、注意が必要です。例年、夏から秋に流行のピークがあり、今シーズンは全国的に過去5年を上回るペースで患者報告数が増加しています。宮城県内でも今週、増加傾向を示し、仙台医療センターでは患者よりRSウイルスが分離されています。今後、患者数はさらに増加すると考えられますので、うがい、手洗いなどの予防対策とともに、大人が軽い風邪の症状を感じた場合でも、早めの受診を行い治療するなど、乳幼児や老人などへの感染防止にも注意してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

